



このは

Kumamoto

Neuro surgery

Hospital

新春号



新春のご挨拶

病院長
冬田修平

新年明けましておめでとうございます。今年は4月に診療報酬・介護報酬の同時改定を控え、超高齢化に伴う医療業界の変容や、地域医療構想の進展が注目されており、今まさに医療と介護の変革期を迎えています。そういう状況の中、これまで当院が行ってきた取り組みを一段と推進していく年にすべく、「当院が担うべき医療の質向上」と「地域医療の連携強化」を本年の目標としております。

医療の質向上に関しては、昨年4月から脳神経外科医1名と放射線科医1名が新たに加わり、コメディカル部門では脳血管リハーサルの機能申請に伴い、リハビリスタッフの増員を行ったことで、一段と早期診断・早期治療・早期リハビリに取り組める体制が整いました。新しい体制下で最良の医療を提供できるよう、職員同士が強い絆で結束し、今後も取り組んでいく所存です。

地域医療の連携強化に関しては、①クリニックの先生方にとってのパックペットとして②治療継続を目的とした超急性期病院からの転院受け入れ③リハビリを目的とした転院受け入れ、など様々な役割があるその一つ一つに注力し、地域医療に貢献していきたいと考えております。それに加え、予防と早期発見が最も大切な脳卒中の情報提供を行うために、地域の支援センターなどへ出向き、生活習慣病の予防や脳ドックの推進を行っていきたいと考えております。

2018年が皆様にとって素晴らしい一年になることを祈念しまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。本年も何卒よろしくお願い申し上げま

先生紹介

今年度より、新しく二人の先生にお越しいただきました。脳神経外科専門医の小林修先生と、放射線科専門医の宮寄俊幸先生です。今回は、そんなお二人の先生のご専門や、お仕事で大事にされていることについて、お話を聞かせてもらいました!!

脳神経外科専門医



小林 修 先生

Kobayashi Osamu

PROFILE

平成 8 年3月 熊本大学医学部卒業
平成16年3月 熊本大学大学院医学研究科卒業
平成16年3月 同上 博士号取得
平成17年8月 日本脳神経外科学会専門医取得
平成24年4月 同上 指導医

質問1 ▶ 先生の専門領域について教えてください。

脳神経外科専門医です。脳外科の領域の中では、頭部外傷、脳血管障害、脳腫瘍が得意な分野になります。熊大大学院では、腫瘍の悪性化のメカニズムについて研究し、学位を取得しました。医局の関連病院では、脳血管障害・頭部外傷に対する手術を数多く経験させていただきました。頭痛や髄膜炎などの一般的な疾患の治療経験も豊富にあります。

質問2 ▶ 病院でのお仕事の中で、一番大事にされていることは何ですか？

専門領域については、深い知識と経験を持つとともに、非専門領域についても広く浅くではありますが勉強して最新の医療を提供できるように心がけています。熊大病院での脳外科のカンファレンスに毎週参加し、最新の知見を取り入れています。

質問3 ▶ 先生の趣味や、休みの日の楽しみは何ですか？

趣味はスキー・バイクツーリング・囲炉裏遊びなどいろいろありますが、基本的には休みの日はしっかり休んで、毎日の仕事に備えるようにしています。

質問4 ▶ 最後に、患者さんへのメッセージをお願いいたします。

一見たいして症状がなくても、CTやMRIなどの画像診断で重大な病気が見つかることもあります。慎重な問診・診察はもちろんですが、画像検査も同時に行った上で最終的な判断をするように心がけています。病気の起り始めは、症状が出揃わぬ診断に悩むこともあります。根気強く原因を調べて、少しでも多くの患者さんのお役にたてるよう努めています。

画像診断専門医



宮寄 俊幸 先生

Miyazaki Toshiyuki

PROFILE

昭和61年 3月 熊本大学医学部卒業
平成 4 年 8 月 放射線科専門医取得
平成 7 年 3 月 放射線科博士号取得
平成 8 年 4 月 熊本赤十字病院放射線科副部長
平成14年 4 月 荒尾市民病院放射線科部長
平成22年 4 月 桜十字病院放射線科医長、健診センター長
平成27年10月 日本医師会認定産業医、難病指定医取得

質問1 ▶ 先生の専門領域について教えてください。

私の専門領域は画像診断学です。日本医学放射線学会認定の画像診断専門医です。入局後は脳神経領域を第一に勉強していましたが、その後、胸部、腹部、骨盤部、骨軟部、乳腺を得意分野としてきました。

質問2 ▶ 病院でのお仕事の中で、一番大事にされていることは何ですか？

報告書の所見によって、治療方針が変わることがありますので、正確な診断を心がけています。また大学病院や近隣の開業医の先生方からのCT、MRI等の御依頼も多いので、依頼された先生方にわかりやすい言葉で、読みやすくかつ迅速に、報告書をお届けすることも心がけています。

質問3 ▶ 先生の趣味や、休みの日の楽しみは何ですか？

週末に地域医療センターの先生や薬剤師さんとテニスをよくします。場所は浜線健康パークが多いですね。汗をかいて、お風呂に入って、バナナジュース(お酒はあまり飲めない)を飲むと、リフレッシュします。あと、最近は映画を時々観ます。最近観たのでは「花戦さ」が良かったです。

質問4 ▶ 最後に、患者さんへのメッセージをお願いいたします。

当院は、頭部外傷をはじめ、頭痛、めまい、ふらつき等、脳神経領域の症状をお持ちの患者様の診断、治療を専門に脳ドックも行っています。これは、当院の専門医だけでなく、熊大医学部からの応援医師や地域の医師会、開業医の先生方の御支援の賜物と思われます。高性能の3テスラMRI導入は先見の明があり、正確な診断のよりどころとなっています。どうぞ、安心して当院を受診されてください。

それぞれの領域のエキスパートでいらっしゃるお二人の先生が着任され、ますます病院も活気にあふれております。より一層チームワークを大切に、何よりも、患者様にとってより良い医療を提供できるよう取り組んで参ります。

検査機器紹介

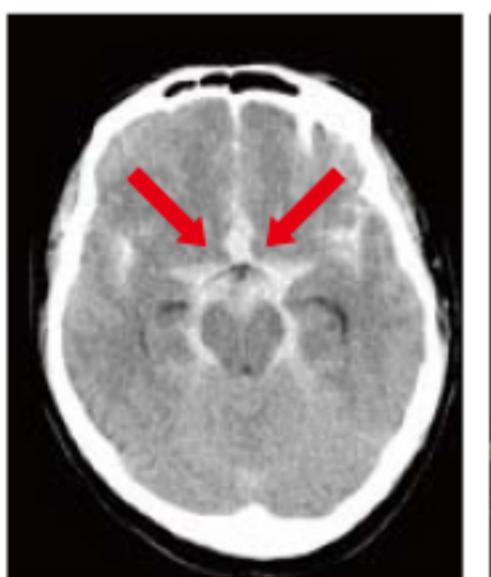
CTとMRIの違いって?どちらを受けたらいいの?

~それぞれの特徴や使い分けについて~

CTやMRI検査は、多くの病気の診断に有効なことから、今や欠かせない画像検査となっています。体の断面を画像化する点はどちらも同じですが、その違いは患者さまにとって分かりにくい点が多いようで、どう違うの?どちらを受けたらいいの?といった質問をよくお聞きます。そこで今回は、CT・MRIの特徴を比較しながら、使い分けについてご説明したいと思います。

	CT	MRI
方法・原理	放射線を用いる	磁場と電磁波を用いる
検査時間	約5分	約20分
検査ができない人	妊婦	妊婦(妊娠初期) 電子機器を埋め込まれている方 (ペースメーカー・神経刺激装置など)
診断に有効な頭部疾患	脳出血・くも膜下出血 慢性硬膜下血腫・頭蓋骨骨折など	脳梗塞・脳腫瘍・動眼神経麻痺 脳動脈瘤・脳動静脈奇形など
検査のデメリット	放射線被曝 (単回の検査では人体に影響はありません)	音がうるさい・検査時間が長い 閉所恐怖症の方は検査ができない場合がある
検査費用	¥4,410(3割負担、各種加算込み)	¥6,510(3割負担、各種加算込み)

CTは 出血や骨の描出を得意とします。よって、打撲や外傷で来院した患者様の場合、CT検査を行うことが多いです。また、検査時間が短いという利点があるため、急を要する検査の際には、迅速な診断に役立ちます。

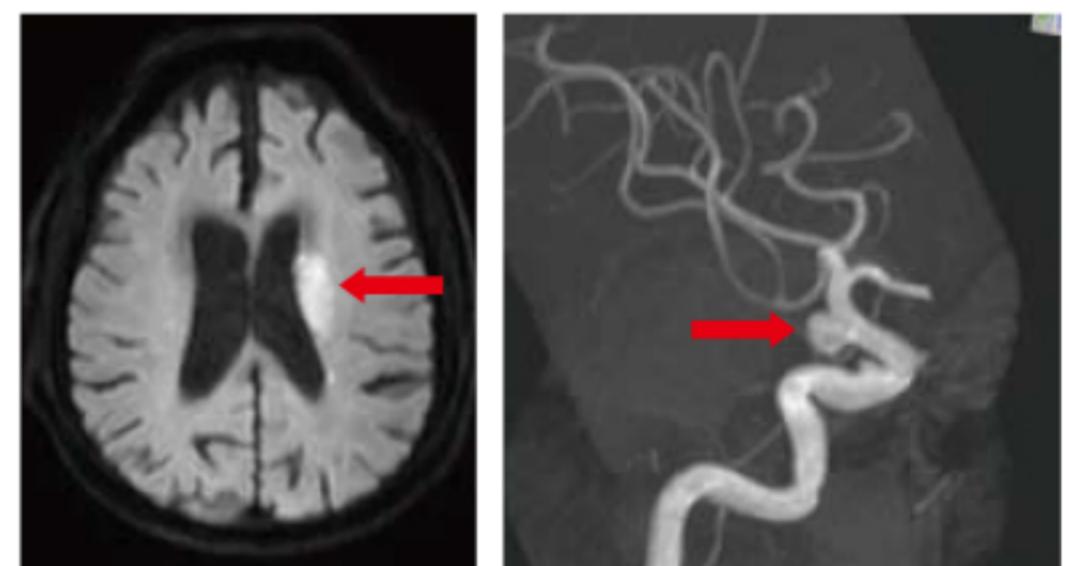


くも膜下出血



頭蓋骨骨折

MRIは 脳や神経・血管のような柔らかい組織(軟部組織)の性状把握を得意とします。脳梗塞や脳腫瘍のように、脳自体に障害が及ぶ病気に対して力を発揮します。また、神経の描出や、造影剤を使わずとも血管の描出ができる点もMRIの大きなメリットです。



脳梗塞



脳動脈瘤

今回の話は基本的な考え方ですので、全ての症例に当てはまるということではありません。では、実際どのように検査が決定されるのか?ということですが、その判断をするのは医師に他なりません。患者様一人一人に対し問診・診察を行った時点で、既に疑わしい病気がいくつか頭に浮かんでおり、その病気を見つけるため、もしくは、その病気ではないということを明確にするため、的確な検査方法を放射線技師に指示します。熟練の知識が必要なんですね!とりあえず検査をしてみましょう、という考えではないということです。問診・診察の際には「〇〇検査を受けたい!」ということよりも、まずは「どこがどうある」ということを、しっかりと医師にお伝えください。そのことが的確な検査を行うための第一歩です!!

栄養課たより ~元気の源~

新年あけましておめでとうございます。

今回は新年の伝統的な食文化である“おせち料理”についてご紹介します。

おせち料理のいわれ

五穀豊穣、家族の安全と健康、子孫繁栄の祈りが込められており、「めでたさを重ねる」との意味で縁起を担いで重箱に詰められています。

当院でも、お正月の行事食として、おせち料理をご提供しています。栄養管理の面から、“重箱で盛り沢山に”とはいきませんが、患者様が新年の慶びを感じて美味しく召し上がって頂けるよう、心を込めて調理しました。



*おせち料理は意外と塩分・糖分が多く、高血圧や糖尿病などの疾患をお持ちの方は食べすぎには注意しましょう!

地域連携室のご紹介

入院に関すること、転院に関すること、退院後の生活のこと、などについて疑問やお困りの点はありませんか？

当院の地域連携室は、これらの問題を解決するための担当部署であり、入退院に関する相談への対応や、入院前後の施設との各種調整業務を主に行っております。

「このまま自宅に帰るのは不安」「退院後もリハビリを続けたいけどどうしたらいいかわからない」といったご相談に対し、例えば、介護保険の申請、転院先の選別などを行うことで、患者様・ご家族の皆様が安心して退院できるよう支援させて頂いております。

今年度より新たに医療ソーシャルワーカー1名が加わったことで、これまでにも増して、支援業務により力を注いで行こうと考えております。直接の相談はもちろん、お電話での相談も受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。



スポーツ部活動紹介 ~ソフトボールへの挑戦~

スポーツ部は、部署の垣根を越えて病院スタッフが集まり、季節ごとに様々なスポーツに取り組んでいます。今回挑戦したのは、東京オリンピックでの日本代表の活躍が期待されるソフトボール！初心者ばかりが集まった男女ミックスのチームですが、10月29日に開催予定であった病院対抗ソフトボール大会へ向け、仕事後に集まって練習を積んできました。

が、しかし。迎えた大会当日、台風接近のため大会は中止に…残念ではありましたが、来年の大会での優勝という大きな目標を掲げ、今後も練習に励みたいと思っています！



～練習風景～

練習試合の相手を募集しています！初心者レベルでもいいよ！と言って頂ける御施設様大募集です！よろしくお願ひいたします。

編 集 後 記

「チーム医療」という言葉をよく聞かれると思います。医療は様々な専門職が集まった特殊な業種です。それ故に、協力・連携して取り組むことが重要だとされています。ですが、まず大事な事は、一人一人が自身の専門業務を責任持って遂行することであり、そのことがチーム医療の原点ではないかと考えます。「信頼の専門集団」を目指し、眞面目に忠実に取り組む事。成年にちなんで忠犬ハチ公に習って、そういう気持ちを大切に、成長していきたいと思います。



医療法人 熊愛会（ゆうあいかい）
熊本脳神経外科病院

〒860-0811 熊本市中央区本荘6丁目1-21

Tel.096-372-3911 Fax.096-362-5135

E-mail:info@knh.co.jp

<http://www.knh.co.jp> 詳しい内容はホームページをご覧ください。 [熊本脳神経外科病院](#) [検索](#)

